

14時30分解禁

平成23年8月 全国百貨店売上高概況

平成23年9月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,258億円余
2. 前年同月比	-1.7% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 253店 (平成23年7月対比-2店)
4. 総店舗面積	6,388,410㎡ (前年同月比:-1.6%)
5. 総従業員数	89,308人 (前年同月比:-5.1%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 -5.4%、2-4月 -5.8%、3-5月 -6.5%、 4-6月 -1.2%、5-7月 -0.7%、6-8月 -0.4%

[参考] 平成22年8月の売上高増減率は-3.2% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

2か月連続の前年同月比マイナスであるが、減少幅は1%台とほぼ前年並みの水準で推移した。また、中期トレンドを示す3か月移動平均値も前年水準まで持ち直してきた。

8月は、震災による生産・消費への影響が概ね収束し、消費マインドが着実に回復傾向を示す中、特に宝飾品や高級時計などの高額商材(美・宝・貴:+4.8%)が前の月に続いて大きな伸びを示した。また、特選服飾雑貨を含む身のまわり品も前年水準で堅調に推移したが、7月まで売上を牽引していたクールビズ(紳士服:-7.4%)や涼感寝具(その他衣料品:-5.1%)など暑さ対策商材が、中旬以降の天候不順と気温低下、及び需要の前倒しによる反動から苦戦したことで、主力の衣料品(-3.4%)が伸び悩み、最終的には前年実績を若干下回る結果となった。

具体的な動向としては、日曜日が前年に比べ1日少なく入店客数に影響したことなどマイナス要素がある一方、プラス要素としては、震災後の復興需要で東北地区(仙台:+8.9%、東北:+3.9%)が引き続き好調であること、新店や大規模増床の効果で大阪(店舗数調整前:+4.5%)と福岡(店舗数調整前:+14.6%)が活況を示していること、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
◇ 月平均気温は北日本を除いて全国的に平年並みだった。太平洋高気圧の勢力の変動が大きく各地で暑い時期と涼しい時期があった。月の後半は、東・西日本では前線や気流の影響で大雨の降った所が多かった。
- (2) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 8日 (〃 -1日/日曜1日減)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 26店、②変化なし: 26店、③減少した: 76店、④不明: 44店
- (5) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上)
①増加した: 30店、②変化なし: 42店、③減少した: 27店、④不明: 73店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 18店、②変化なし: 76店、③減少する: 27店、④不明: 51店

全国百貨店 売上高速報 2011年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	425,899,454	100.0	-1.7 (-2.0)
10都市	276,623,295	65.0	-1.5 (-1.2)
札幌	11,109,048	2.6	-2.6
仙台	6,179,424	1.5	8.9
東京	99,421,433	23.3	-2.9 (-3.8)
横浜	24,742,447	5.8	1.4 (0.5)
名古屋	23,740,693	5.6	0.3 (-10.3)
京都	17,354,270	4.1	-1.3 (-4.7)
大阪	56,848,866	13.3	-0.1 (4.5)
神戸	12,285,091	2.9	-3.2
広島	10,633,187	2.5	-1.5
福岡	14,308,836	3.4	-7.7 (14.6)
10都市以外の地区	149,276,159	35.0	-2.0 (-3.4)
北海道	2,416,758	0.6	-6.5
東北	7,932,354	1.9	3.9 (-12.1)
関東	69,682,220	16.4	-2.4 (-2.7)
中部	11,677,679	2.7	-2.0
近畿	15,455,482	3.6	0.8
中国	10,821,378	2.5	-3.0
四国	7,620,994	1.8	-2.9
九州	23,669,294	5.6	-2.9 (-5.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	425,899,454	100.0	-1.7 (-2.0)
紳士服・洋品	20,829,758	4.9	-7.4 (-7.6)
婦人服・洋品	83,970,257	19.7	-2.5 (-4.6)
子供服・洋品	8,651,209	2.0	0.5 (1.8)
その他衣料品	11,290,605	2.7	-5.1 (-5.7)
衣 料 品	124,741,829	29.3	-3.4 (-4.8)
身のまわり品	53,127,184	12.5	-0.2 (-0.2)
化粧品	25,054,843	5.9	-2.5 (-2.7)
美術・宝飾・貴金属	19,981,045	4.7	4.8 (3.6)
その他雑貨	18,967,316	4.5	-3.2 (-3.0)
雑 貨	64,003,204	15.0	-0.6 (-0.9)
家 具	6,401,717	1.5	-6.8 (-6.5)
家 電	1,223,261	0.3	-13.5 (-13.6)
その他家庭用品	15,026,336	3.5	-1.6 (-1.6)
家 庭 用 品	22,651,314	5.3	-3.8 (-3.7)
生 鮮 食 品	27,897,960	6.6	-1.8 (-1.8)
菓 子	37,235,859	8.7	0.6 (1.8)
惣 菜	28,210,792	6.6	1.4 (2.1)
その他食料品	36,831,460	8.6	-0.5 (-1.0)
食 料 品	130,176,071	30.6	-0.1 (0.3)
食 堂 喫 茶	16,530,423	3.9	-1.5 (0.7)
サ ー ビ ス	5,291,327	1.2	-7.5 (-9.2)
そ の 他	9,378,102	2.2	-7.4 (-8.3)
商 品 券	13,786,058	3.2	-14.9 (-15.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.5% (店舗数調整後／2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.0% (" ／3か月ぶりマイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.5	-1.0	2か月連続マイナス
札幌	-2.6	-0.1	4か月連続マイナス
仙台	8.9	0.1	4か月連続プラス
東京	-2.9	-0.7	2か月連続マイナス
横浜	1.4	0.1	5か月連続プラス
名古屋	0.3	0.0	3か月連続プラス
京都	-1.3	-0.1	6か月連続マイナス
大阪	-0.1	0.0	5か月ぶりマイナス
神戸	-3.2	-0.1	4か月連続マイナス
広島	-1.5	0.0	2か月連続マイナス
福岡	-7.7	-0.2	37か月連続マイナス
10都市以外の地区	-2.0	-0.7	3か月ぶりマイナス
北海道	-6.5	0.0	10か月連続マイナス*
東北	3.9	0.1	5か月連続プラス*
関東	-2.4	-0.4	2か月連続マイナス
中部	-2.0	-0.1	6か月連続マイナス
近畿	0.8	0.0	5か月連続プラス
中国	-3.0	-0.1	2か月連続マイナス*
四国	-2.9	-0.1	50か月連続マイナス
九州	-2.9	-0.2	3か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、4か月ぶりに全品目がマイナスとなった。しかし、食料品が－0.1%、身のまわり品が－0.2%と2品目は微減となった。また、惣菜が4か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子が3か月連続、子供服・洋品が4か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	－1.7	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	－7.4	－0.4	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	－2.5	－0.5	6か月連続マイナス
子供服・洋品	0.5	0.0	4か月ぶりプラス
その他衣料品	－5.1	－0.1	4 2か月連続マイナス
衣料品	－3.4	－1.0	6か月連続マイナス
身のまわり品	－0.2	0.0	2か月ぶりマイナス
化粧品	－2.5	－0.2	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	4.8	0.2	3か月連続プラス*
その他雑貨	－3.2	－0.1	4 5か月連続マイナス*
雑貨	－0.6	－0.1	2か月ぶりマイナス
家具	－6.8	－0.1	2か月ぶりマイナス
家電	－13.5	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	－1.6	－0.1	3か月ぶりマイナス
家庭用品	－3.8	－0.2	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	－1.8	－0.1	2か月連続マイナス*
菓子	0.6	0.1	3か月連続プラス*
惣菜	1.4	0.1	4か月連続プラス*
その他食料品	－0.5	0.0	2か月連続マイナス*
食料品	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
食堂喫茶	－1.5	－0.1	3か月ぶりマイナス
サービス	－7.5	－0.1	9か月連続マイナス
その他	－7.4	－0.2	2か月連続マイナス
商品券	－14.9	－0.6	6か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年9月20日

I. 概況

1. 売上高総額	994億円余
2. 前年同月比	-2.9% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.7%(88.4%) : 非店頭-11.3%(11.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成23年7月対比-1店)
5. 総店舗面積	904,275㎡ (前年同月比:-2.8%)
6. 総従業員数	19,099人 (前年同月比:-8.9%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%、3-5月 -10.7%、 4-6月 -3.1%、5-7月 -1.7%、6-8月 -1.2%

[参考] 平成22年8月の売上高増減率は-3.4%

【8月売上の特徴】

- (1) 中旬以降の天候不順と日曜日が前年に比べ1日少なかった影響で、都内各店の入店客数は概ね5%前後の減少であった。
- (2) 東京地区における高額品の動向は全国水準以上に活況であった。富裕層を中心に100万円を超える価格帯で、高級時計やジュエリーのほか海外特選ツアーなどもよく動いた。
- (3) 最近のトレンドである家庭回帰志向によって、身近な生活材を充実させる動向が顕著となり、食器や調理器具(その他家庭用品:+2.8%)などが引き続き好調に推移した。
- (4) 企業の節電対策による夏期休暇の分散化を背景として、例年はお盆休みにピークを迎える帰省土産や上京土産の需要(菓子:-1.3%)に若干影響を受けている。
- (5) 昨年、猛暑で活況を呈した屋上ビアガーデンについては、今年は8月中旬以降の雨天や気温低下の影響からシーズン後半に伸び悩み、前年の水準には届かなかった。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比-0.4日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 1店、③減少した: 14店、④不明: 1店
- (3) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 5店、③減少した: 3店、④不明: 7店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 1店、②変化なし: 9店、③減少する: 7店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年08月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	99,421,433	100.0	-2.9 (-3.8)
紳士服・洋品	5,507,136	5.5	-9.2 (-10.2)
婦人服・洋品	17,084,404	17.2	-6.1 (-8.7)
子供服・洋品	1,509,769	1.5	0.6 (0.5)
その他衣料品	2,028,360	2.0	-13.5 (-13.5)
衣 料 品	26,129,669	26.3	-7.0 (-8.9)
身のまわり品	13,877,605	14.0	-0.6 (-2.9)
化粧品	5,808,837	5.8	-4.5 (-8.3)
美術・宝飾・貴金属	6,153,366	6.2	6.5 (6.5)
その他雑貨	6,240,880	6.3	0.5 (0.3)
雑 貨	18,203,083	18.3	0.7 (-0.7)
家 具	1,870,583	1.9	-8.1 (-8.3)
家 電	521,700	0.5	22.3
その他家庭用品	3,971,619	4.0	2.8 (2.8)
家 庭 用 品	6,363,902	6.4	0.6 (0.5)
生 鮮 食 品	4,358,434	4.4	0.0 (2.9)
菓 子	7,802,574	7.8	-1.3 (-0.4)
惣 菜	5,934,219	6.0	0.4 (1.9)
その他食料品	8,455,837	8.5	-0.3 (0.5)
食 料 品	26,551,064	26.7	-0.4 (0.9)
食 堂 喫 茶	3,462,424	3.5	2.7 (1.9)
サ ー ビ ス	2,034,462	2.0	-11.6 (-15.8)
そ の 他	2,799,224	2.8	-22.7 (-22.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	3,282,217 千円	-35.2 (-35.5)
従 業 員 数	19,099 人	-8.9
店 舗 面 積	904,275 m ²	-2.8

営 業 日 数	30.6 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が2か月連続、家庭用品が3か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品が3か月連続、家電が2か月連続、子供服・洋品、惣菜が2か月ぶり、その他雑貨が3.9か月ぶりのプラス、生鮮食品が前年並みとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.9	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-9.2	-0.5	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.1	-1.1	6か月連続マイナス
子供服・洋品	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-13.5	-0.3	40か月連続マイナス
衣料品	-7.0	-1.9	2か月連続マイナス
身のまわり品	-0.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
化粧品	-4.5	-0.3	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	6.5	0.4	3か月連続プラス*
その他雑貨	0.5	0.0	3.9か月ぶりプラス*
雑貨	0.7	0.1	2か月連続プラス
家具	-8.1	-0.2	5か月連続マイナス
家電	22.3	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	2.8	0.1	3か月連続プラス
家庭用品	0.6	0.0	3か月連続プラス
生鮮食品	0.0	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	-1.3	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	0.4	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.3	0.0	7か月連続マイナス*
食料品	-0.4	-0.1	2か月連続マイナス
食堂喫茶	2.7	0.1	3か月連続プラス
サービス	-11.6	-0.3	3か月連続マイナス
その他	-22.7	-0.8	2か月連続マイナス
商品券	-35.2	-1.7	4か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>